

01.

CLL活動運営学生スタッフ

皇學館大学
CLL活動
report 2024

CLL活動のコーディネーター

この活動では、CLL活動の説明会や報告会、シンポジウムの企画や運営を地域課題学修支援室の方々のご協力のもと、行っています。企画、運営、事務などのスキルの向上に取り組んでいます。CLL活動に興味を持ち、参加する学生を一人でも多く増やし、活動同士の連携を進め、CLL活動の活性化を目指しています。

メンバー数：7名
活動場所：伊勢市
実施主体：—
担当教員：池山 敦（教育開発センター）
活動年度：R05, R06



月別活動

- 4月 顔合わせ、春学期活動説明会準備
- 5月 23日, 30日
春学期活動説明会実施（皇學館大学）
- 6月 シンポジウム準備開始
- 7月 8日
鈴鹿高校生の訪問に伴うCLL活動の紹介（皇學館大学）
12日
三重県知事との円卓会話（皇學館大学）
- 8月 6日
シンポジウム開催に向けた関係市町への挨拶回り（3市5町）
- 9月 8日
『地(知)の拠点』10周年シンポジウム開催（皇學館大学）
- 10月 秋学期活動説明会準備
- 11月 13日, 14日
秋学期活動説明会実施（皇學館大学）
- 12月 活動報告会準備開始
- 1月 活動報告会準備
- 2月 活動報告会準備
- 3月 4日
令和6年度活動報告会実施（皇學館大学）

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

この活動の現在の成果は主に3つあります。

1つ目は、『地（知）の拠点』10周年シンポジウムの企画や運営です。分科会や全体会では伊勢志摩で共に暮らし続けることの未来を考え合うシンポジウムにふさわしい議論の題を自分たちで考えて決めました。当日、伊勢志摩を大切に思う意見の数々が出て、中には想像もしていなかった貴重な意見が出て、深く有意義な議論になりました。

2つ目は、活動説明会の企画や運営です。春学期と秋学期に活動説明会を行いました。活動説明会では、各活動の口頭発表とポスター発表の他にCLL活動に興味を持ち、参加してもらうために学生企画を考えて実行しました。学生スタッフによる何でも相談できる時間を設けました。春学期は、ポスターの前で各活動の担当者の説明と同時に、学生スタッフがCLL活動をはじめ何でも相談を実施し、交流しました。秋学期は、学生スタッフが何でも相談を実施して交流し、各活動の相談には各活動の担当者が答えました。何でも相談を実施して、見学者とじっくり交流でき、CLL活動への参加につながったことがありました。チラシを作成し、分かりやすく見やすい文字と活動に参加する楽しさが伝わる写真を使う工夫をしました。

3つ目は情報発信です。Instagramでシンポジウムや活動説明会の周知を行いました。CLL活動に関する投稿だけでなく、学生が日常の中で撮った写真も投稿することで、親しみを感じてもらい、CLL活動への関心を持ち、参加者を増やすこと、CLL活動への地域の方々の理解を深めることを目指しています。フォローが増えてきたので、さらに増えるようにします。

今後の課題として、活動説明会では参加者が少ないこと、発表団体が偏っていることがあります。多くの団体に発表してもらえるように、多くの参加者に積極的に参加してもらえるように広報の見直しや早めの周知や募集、日程調整を行うようにします。

活動を通して学んだこと

この活動は始動したばかりということもあって、試行錯誤して活動する場面が多くありました。活動の多くは指導教員の池山先生の助言によって進んでいきました。活動学生の学年もバラバラだったことで、スケジュール的に作業できる人が限られていたり、相談時間が長く確保できないなどの困難もありましたが、できる人ができる時にできることをする、都合により出来ないことは他の人に任せて別の場面で積極的に動くようにするなど全員が活動メンバーであることを自覚して動くことができました。また、確認したいことがある時は先生個人に聞くのではなく、グループLINEに連絡することによって他の人も共通認識をもつように心掛けるなど、全員が共通認識をもっていることが大切だと学びました。

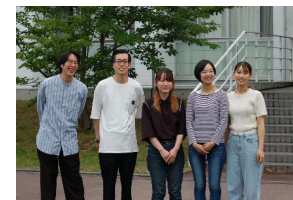
担当教員より

教育開発センター 池山 敦

このプロジェクトは「CLLをサポートするCLL」という構想で地域課題学修支援室が実施主体となり立ち上げました。学生主体でCLL活動全体を運営していくことを目指し、今年度はいくつかの行事について企画運営を行ってもらいました。今後は、CLL参加学生のサポートや活動のコーディネートなど幅広く活躍してほしいと考えています。今年度参加の学生は、しっかりと考え行動することができたと思います。学生の皆さん、次年度も引き続きよろしくお願いします。



成果物 / 制作物



こんな人におすすめ！

- ・ イベントの運営に興味がある人
- ・ 学年、年齢に関係なくコミュニケーションをとることが好きな人